

ウイルスセット

ウイルスセット	
検査項目	
麻疹	2.0未満：陰性
風疹	2.0未満：陰性
ムンプスウイルス（流行性耳下腺炎）	2.0未満：陰性
水痘（水ぼうそう）・帯状ヘルペス	2.0未満：陰性
金額（11,000円：税込）	

麻疹、風疹、ムンプス、（水痘・帯状ヘルペス）のウイルスに対する IgG 抗体の値（＝免疫力）を保有しているか調べる検査です。過去の感染の有無や、ウイルスに免疫を保有しているかどうか分かります。検査方法は採血となります。

【麻疹】はしか

麻疹が恐れられる理由は「感染力の強さ」と「合併症」にあります。感染力が強く「空気感染」を起こします。また妊娠中の麻疹感染で流産・早産・死産を起こす確率が上がることも知られています。

【風疹】

風疹は発熱などの症状とほぼ同時に全身に発疹が出る感染症です。抗体を持たない妊娠中の女性が風疹にかかると、赤ちゃんに先天性風疹症候群（難聴や心疾患、白内障や緑内障などの障害）を起こすことがあります。

【ムンプスウイルス】

感音性難聴や髄膜炎、膵炎、腎炎、思春期以降では精巣炎や卵巣炎といった合併症を起こします。このうち感音性難聴は、いったん起こすと聴力の回復が難しく、その後の日常生活や社会生活にも影響が出てしまう重大な合併症です。また、妊娠初期に感染すると流産の原因になります。

【水痘】

水痘とは、水痘-帯状疱疹ウイルスによる感染症で、一般的には「水ぼうそう」として知られています。潜伏期間は10日から21日間で、発症すると38度前後の発熱、全身に直径3ミリから5ミリ程度の発しんが出現します。発しんは紅斑からはじまり、丘しん（盛り上がった赤い発しん）、水疱（水ぶくれ）、痂皮（かさぶた）と変化し治ります。

成人では重症になることがあり、髄膜炎や脳炎などの合併症の頻度も高くなります。またウイルスは治癒後も体の中に潜伏していて、何年も経過してから「帯状疱疹」として再発することがあります。